

日付：令和8年4月21日(火)	記録者：北部地域障がい者相談支援センター
会議名：令和8年度第1回相談・生活支援合同部会報告	
場所：唐津市健康サポートセンターさんて 3階 大会議室	
時間：14:00～15:30	参加者数：52人(うち相談支援部会24人)
参加関係機関 出席者名簿参照	
<p>内容</p> <p>1. 報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度第2回全体会の報告 ・今年度の部会長・副部会長の確認：【新部会長：むつみ 副部会長からつ学園】 ・ワーキングの報告【新座長：そらサポ、副座長きずな】 <p>相談支援専門員の資質向上と現場の課題解決を目的とした研修実施について スキルアップ研修の開催(初任研受講後およそ3年未満の相談支援専門員を対象) 時期：6月、8月、10月の部会終了後に実施(年3回)。 時間：部会を30分繰り上げ、研修をその後(15:00～16:30)の1時間半で実施。 内容：「ケアマネジメントプロセス」について流れを年間通して学ぶ。 講師：北部地域の主任相談支援専門員(2名1組の担当制)。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・その他 ・便利屋(城工務店様)：詳細はパンフレットを参照。 ・障がい者支援課による就労選択支援に関する説明会： 第1回就労支援部会(5月20日14:00頃～さんて3階大会議室)にて→希望者は事前に事務局へ連絡。 <p>2. 今年度のスケジュールおよび合同事例検討会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部会：偶数月の第3火曜日(6/16, 8/18, 10/20, 12/15, 2/16)に開催予定。 ・小城多久相談支援部会との合同事例検討会：予定日：令和9年1月13日(水) <p>目的：ファシリテーション能力の向上を目指すファミ研の「フィールドワーク」としての位置づけ。他地区との交流を含めた人材育成を行う。第5回部会(12/15)を本合同部会の日程に置きかけることを検討。</p> <p>～ここから生活支援部会と合同～</p> <p>3. 精神障害者生活支援ネットワーク研修会(報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「にも包括(精神障害にも対応した地域包括ケアシステム)」の推進：2004年の改革ビジョン以降、入院中心から地域生活支援への移行が加速している。現在、精神疾患の患者数は全国で約576万人に達し、5大疾病の一つとして地域での受け皿作りが急務となっている。 ・令和7年度の実施報告(唐津保健福祉事務所)：計3回の研修(精神疾患の理解、当事者からのメッセージ、地域移行支援の事例紹介)を実施。今後も多職種連携を強化し、自分らしく暮らせる地域づくりを推進する。 <p>4. グループワーク：「家事の共同実践(見守りの援助)について」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施方法：ホスト(進行役)1名がテーブルに残り、他のメンバーが10分ごとに移動する「ワールドカフェ方式」を採用。 ・目的：多くの参加者と顔の見える関係性を築き、多様な視点から意見を交換する。 ・結果：合同部会で初めて「ワールドカフェ方式」を取り組んだが、活発な意見交換が行われ、部会を跨いだ相互理解が深まった。 <p>5. 閉会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部会長挨拶：自立支援協議会の根底は「障害の有無に関わらず幸せに暮らせる仕組み作り」であり、今後も部会を越えた連携を深めていくことを確認。 	